

令和4年度 事業計画

観光振興事業

1. 自主事業

(1) 観光宣伝・情報発信事業

① 観光情報等の発信事業

本県への観光誘客を促進するため、鉄道主要駅や空港、道の駅等の交通結節での、徳島観光ガイドマップをはじめとする各種パンフレットの配布や、近隣県の旅行会社等への情報提供を行うとともに、観光情報サイト「阿波ナビ」を活用した情報発信を行う。

また、アフターコロナの時代に即した効果的な情報発信を実現するため、徳島県が実施する「阿波ナビ」のリニューアルやデジタルマーケティング事業と連携し、「阿波ナビ」のコンテンツの充実や見直しなど情報発信機能の強化を図る。

② 徳島観光情報ステーション管理運営事業

淡路島南パーキングエリア内にある観光情報ステーションにおいて、徳島県及び県内市町村の紹介や情報発信を行い、観光客の誘致促進を図る。

特に、コロナ禍において、インターネットによる動画配信が人気である状況を踏まえ、県内市町村や観光団体等の動画を収集・放映し、情報発信力の強化を図る。

③ 観光とくしまSNS発信事業

徳島県内の旬の観光資源をSNS（Facebook,Instagram,Twitter）で発信するとともに、これまで情報発信に協力いただいた「とくしま観光情報通信員」や「徳島国際観光サポーター」に加え、令和3年度の「インフルエンサー養成ツアー」参加者や県内在住のローカルインフルエンサーの中から、観光とくしまを積極的に発信する意欲のある方を活用し、それぞれがSNS発信することで、口コミによる幅広い層への情報発信を行う。

④ 徳島魅力あふれる観光素材収集活用事業

徳島県内の四季を通じた魅力ある観光資源を写真、映像等で収集し、著作権フリーの観光素材を充実し、フォトギャラリーからメディア等が簡単かつ適切に素材を取得できるよう整備し、観光徳島の魅力を発信する。

⑤ 徳島国際観光・物産交流特使制度事業

徳島県の観光と物産の魅力を発信し、本県の認知度向上を図り、訪日客誘致を図るため、国内外在住の徳島ファンの方々を「徳島国際観光・物産交流特使」に委嘱して、特使の人脈を活かした徳島県の観光PRを実施する。

⑥ 感動徳島再発見！フォトコンテスト事業

徳島県物産協会と連携し、徳島県が誇る伝統工芸、特産品、職人や生産者、自然、歴史文化、にぎわいの景観や、お気に入りの風景などを募集したフォトコンテストを実施する。また、入賞作品をカレンダー制作や情報発信などに活用し、本県の魅力を発信する。

(2) 観光客誘致促進事業

① 未来を創るSDGsプログラムブラッシュアップ事業

県内DMOおよび高等教育機関と連携し、既存の観光資源や教育旅行向けプログラム等を、SDGsプログラムとしてブラッシュアップし、他地域と差別化をすることで、ポストコロナにおける誘客促進を図る。

② 四国域内流動促進事業

四国4県の観光協会が連携し、四国内での域内交流を活性化するため、商業施設でのキャンペーンやJR四国主要駅等に観光パンフレットを設置し情報発信を行う。

また、おもてなし四国を推進するため、観光客が感激したおもてなし事例を募集・選考し、表彰する「四国おもてなし感激大賞」事業を継続実施する。

③ アフターコロナ魅力発信事業

東京・大阪・名古屋の三大都市圏をはじめとした誘客の見込まれる地域において、関係機関や観光事業者と連携して観光イベント等に参加し、本県の観光情報を発信し、アフターコロナにおける観光誘客を図る。

④ メディア活用宣伝事業

テレビや雑誌等のマスメディアに加え、オンライン時代に個人への情報伝達力が最も大きいとされるソーシャルメディア（SNS）を活用した広告配信により、県内の旬な観光情報等や魅力あるイベント等の情報発信を行うことで集客を促進するとともに、デジタルマーケティング分析を行い、次の情報発信のターゲティングにつなげる。

また、メディアの県内視察を促進し、記事掲載等による旅行喚起に繋げる。

⑤ 観光とくしま消費拡大キャンペーン事業

アフターコロナでの本県への観光需要の回復促進を目的とした「新しい生活様式での消費拡大キャンペーン」を実施する。キャンペーンには、賛助会員、応援割参画事業者等の多様な観光事業者に参加を募り、各事業者が観光客向け特典を設け、秋・春の観光シーズンの前に、SNSで機動的かつ効果的な発信を行い、新しい生活様式での観光誘客を促進する。

(3) 観光客受入対策事業

① 外国人受入態勢整備事業

外国人の徳島観光満足度を高めるため、体験施設や観光ガイドにおける体験手順やガイドポイントの多言語表記などを支援するとともに、SNSでの発信強化を図り、外国人受入態勢の整備に努める。

② 観光関連事業団体の連携支援事業

県内の観光ガイド団体や観光ボランティアガイド団体等の連携を図り、ポストコロナにおけるおもてなし徳島の受入体制を支援する。

2. 県からの受託事業

(1) 千客万来！「オール徳島」観光誘客プロモーション事業

「オール徳島」で旅行需要を喚起させるため、官民一体となった「観光誘客プロモーション」を実施し、一般消費者や旅行会社向けの誘客営業を展開する。

(2) 周遊促進！徳島観光すいすい事業

旅行商品の造成につながる団体旅行者向けのバス助成を実施する。

(3) とくしまロケーション・ブランド発信事業

映画・テレビ・CM等の県内誘致を促進するため、映像制作関係者などへロケ地等の情報提供やロケアテンドなどの支援を行う。

(4) 魅力あふれる「阿波とくしま」観光誘客推進事業

観光誘客を促進するため、阿波ナビやSNS、観光パンフレット等での情報発信や県内で開催されるイベントに対し支援する。

(5) とくしま観光人づくり事業

「大阪・関西万博」を見据え、県内の観光産業を担う人材や次代の担い手の育成を図るため、産学官連携による「学びの場」として、観光事業者や高等教育機関、DMO等との連携による「とくしま観光アカデミー」を運営する。

(6) 阿波おどり「とくしま連」運営事業

徳島県のイメージアップを図るとともに、郷土の伝統芸能である「阿波おどり」の継承やこれによる観光客の誘致促進を図るため、阿波おどり「とくしま連」の運営に係る業務を行う。

(7) 阿波おどり「春夏秋冬エキサイティング」事業（冬）

「阿波おどり」をはじめとした「あわ文化」体験イベントを開催することにより、年間を通じた誘客促進を図る。

(8) 観光情報提供システム整備事業

観光客の誘致促進や受入態勢の充実を図るため、観光情報提供サイト「阿波ナビ」の適切な維持管理を行う。

(9) 着地型観光・コンベンション事業

県内の着地型観光プラン等のサポートツールを作成し、旅行AGTへの売り込みを行うとともに、コンベンションの開催決定後のサポートを行う。

(10) 徳島ー福岡線利用による旅行商品造成促進事業

徳島阿波おどり空港における徳島ー福岡線の更なる利用促進・需要喚起を目的として、徳島ー福岡線利用による県内での宿泊を含む団体ツアー旅行商品に対する助成を行う。

(11) 「みんなで！とくしま応援割」実施事業

コロナ禍が長期に及ぶ中、県内観光需要を継続的に喚起し、県民の方々に本県の魅力の再発見と発信をしていただくため、県民限定の宿泊等割引制度「みんなで！とくしま応援割」を継続するとともに、近隣県にも拡大し、徳島県の観光産業を支援する。

3. 収益事業

(1) 自主財源の確保

自主財源を確保するため、徳島県観光ガイドマップ、とくしま観光カレンダー等の販売により収益拡大に努める。

また、賛助会員の増強による組織基盤の強化を図る。

コンベンション振興事業

1. コンベンション振興事業

(1) 誘致対策事業

① コンベンショントレードショーへの参加

ア. 国際MICEエキスポへの参加

国内外の会議主催者やキーパーソンに対して、施設・ホテル情報や各種支援案内・提案等を行ない、本県へのコンベンション誘致に努める。

イ. 中国四国地区合同コンベンション誘致懇談会への参加

中国四国地区のコンベンション推進団体と協力し、懇談会を開催し、コンベンション主催団体に向けたPRと誘致に努める。

ウ. MICE EXPO in Kansai への参加

関西で初めて開催される「MICE EXPO in Kansai」に参加し、MICE主催団体に対して、コンベンション施設・ホテル情報や各種支援案内、本県ならではの体験プログラムを提案し誘客に努める。

② 企画提案・視察支援事業

主催者に対してコンベンション開催支援制度やコンベンション施設の紹介、各種企画提案による誘致活動を行うとともに、ポストコロナの開催について各種提案と支援を行う。

また、コンベンション開催予定の主催者が視察する際の各種支援を行う。

③ 「とくしまコンベンション誘致推進協議会」の運営

産官学民で構成する協議会を運営し、県内各種関係団体と連携した誘致活動を推進する。

④ コンベンションセミナーの開催

県内の主催者を対象に各種支援プログラムや、助成金等を紹介するセミナーを開催し、誘致促進に努める。

⑤ 広域連携による誘致促進事業

中国・四国地域のコンベンション団体で構成する協議会や、その他地域のコンベンション団体と連携し、効果的な誘致促進に努める。

(2) 受入支援事業

① コンベンション開催支援助成金の交付事業

コンベンション主催者に対し、開催経費の一部、郷土芸能等のアトラクション経費、シャトルバス運行に係る経費、アフターコンベンションに係るバス借り上げ経費、1,000泊以上のコンベンションを対象とする県立施設使用料、展示会開催について、対象要件に応じて助成する。

② 主要観光施設・飲食店の紹介及び優待割引券の提供事業

コンベンション参加者に対して、県内観光地や飲食店の紹介や優待割引券を付加した資料を提供し、県内滞在時間拡大や広域周遊を働きかける。

③ MICEおもてなし事業

全国大会・学会開催時の歓迎看板の設置および、大規模コンベンション開催時には、宿泊、観光など関連施設で歓迎ポスターを掲示する。

また、会場での観光PRブースや、徳島ならではの土産物、地酒等の物産販売による賑やかしについて企画提案し関係団体と調整する。

④ MICEワンストップ事業

大規模学会等の開催時に、飲食店や観光地等のオリジナル配布物を作成する場合、ワンストップで各種調整業務を行う。

また、主催者に対し徳島をイメージしたコングレスバックを販売するほか、主催者が作成する資料等で活用が出来る、地図データ等を作成し提供する。

⑤ 関係団体との連携

JNTO（日本政府観光局）、JCCB（日本コングレス・コンベンションビューロー）、県市町村、大学等と連携して、コンベンション開催情報を収集し、当協会の賛助会員、とくしまコンベンション誘致推進協議会の会員等と情報共有することにより、コンベンション受入の気運醸成を図る。

(3) 海外からのMICE誘致等促進事業

① 「アドベンチャーツーリズム徳島」発信事業

世界のツーリズム市場を牽引する分野として注目されている「アドベンチャーツーリズム」は、豊かな自然や伝統芸能、伝統文化が豊富な徳島県においても合致すると考えられ、DMO等観光関連団体やアクティビティ等提供事業者と連携し、世界のアドベンチャーツーリストから選ばれるアドベンチャーツアー造成にむけた各種研修等を実施し、「アドベンチャーツーリズム徳島」を国内外に発信し誘客に努める。

② 各種インバウンド商談会への参加

日本最大のインバウンド商談会「VISIT JAPAN トラベル&MICE マーケット」など各種商談会に出展し、本県の観光PRを行い誘致を図る。

③ 中国・香港からの誘致

中国・香港の旅行AGTに対して教育旅行、MICE、各種体験旅行等の誘致を図る。

④ 台湾からの誘致

JNTOや日本観光振興協会四国支部等と連携し、徳島独自のSDGsや体験を紹介して台湾からの観光客や教育旅行の誘致を図る。

⑤ その他の国からの誘致

徳島県や四国ツーリズム創造機構と連携し、韓国・タイ・マレーシアといった東・東南アジアを主軸に、教育旅行やインセンティブ旅行の誘致を図る。

1. 徳島県立産業観光交流センター（アスティとくしま）の管理運営事業

（1）指定管理業務の充実・強化策

当協会が継続してアスティとくしまの管理運営を担うこととなった、第4期（令和3年度から令和7年度まで）の2年目であるが、引き続き、SDGsやニューノーマルへの対応を図り「安全・安心・快適」を基本方針として、利便性と利用者サービスの向上に取り組むとともに、更なる業務能率の向上や効率化を推進する。

また、新型コロナウイルスにより、多目的ホールでのイベント開催を延期や中止等で見合わせていた主催者や、新たな主催者によるイベント等の利用促進を図るため、これまで以上の積極的な誘致活動を行うこととする。

（2）感染症対策

コロナ禍を踏まえ、これまでに感染症予防対策として、手指消毒液スタンドの設置、サーマルカメラ・非接触型体温計の整備、紫外線空気清浄機の導入等に加え、抗ウイルス・抗菌性ワックスによる共用部や備品等への処理を行ったが、引き続き、必要な感染症対策に努める。

また、来館者へのマスク着用、手洗いや手指消毒、3密回避等の注意喚起などを行うとともに、オンライン配信環境の改善など、ハイブリッド型イベント開催等における利便性と快適性の向上を目指す。

（3）館内設備の維持更新等

館内設備については、定期的な点検により故障や事故の未然防止に努める。

また、設備の維持や修繕については、経年劣化状況に加え、安全性とコストの両面から優先度を決定し、県との事前協議を綿密に行いながら効率的かつ効果的に実施する。

（4）県指定事業

① アスティおどりひろば（県指定事業）

8月12日から15日まで、阿波おどり期間中の昼間対策として、県内有名連による阿波おどりの上演やレッスンをを行い観光客の誘致を図る。

（5）利用促進事業

① 大会・会議等の誘致事業

当協会のコンベンション部門と連携し、「国際MICEエキスポ」等に参加し、当施設の規模や開催地域に当てはまる可能性が高い大会や会議、学会など様々な催しの誘致に努める。

② 秋の阿波おどり

平成20年度から当協会単独事業として開催しており、平成26年度から県と共同開催している「秋の阿波おどり」を今年度も開催する。

本県の郷土芸能や工芸体験に加え、特産品販売ブース、飲食グルメブース等の内容を充実し、交流人口の拡大と地域の活性化に繋げる。

また、令和元年度に開催した「世界阿波おどりサミット」の成果を踏まえ、県外や海外で活躍する連の参加も求め、阿波おどりの裾野の拡大を目指す。

③ 明日亭徳島落語会

新春の落語会に、その他の伝統芸能等も取り入れながら「第20回明日亭徳島新春寄席」を開催し、にぎわいの創出や伝統文化の振興を図る。

④ アスティ阿波奏舞祭

県内4大学の阿波おどりをメインとした学生サークルに出演を依頼し、活動発表の場、学生同士の交流の場を提供することにより、豊かな情操と健全な心身育成の一助とするとともに、地域におけるにぎわい創出を図る。

⑤ 徳島ヴォルティス アウェイ戦パブリックビューイング

2023シーズンの「徳島ヴォルティス」J1再昇格を願い、多目的ホールの空き日を利用して、アウェイ戦のパブリックビューイングを開催し、チーム・サポーターや県民が一体となり応援する。

(多目的ホールの利用状況により、開催不可になる場合もある。)

⑥ アスティとくしま開館30周年記念イベント

次年度が当センター開館30周年に当たることから、設置目的である交流の促進と観光・産業の振興に寄与することを目指し、集客力のあるイベント・アーティストを誘致し、開館30周年イベントを開催することで、さらなる交流人口の拡大と地域の活性化を図る。

⑦ 企業等の周年記念イベントやお客様イベント等の誘致

定期的に多目的ホールの利用があったイベント等の多くが、新型コロナウイルス感染症の影響で延期や中止となっているため、当センターにおける新型コロナウイルス感染対策の取り組みをアピールするとともに、継続した多目的ホールの利用案内を行う。

また、企業等の周年記念イベントや、顧客を対象としたお客様イベントなどを誘致するため、主催者に対し、利用案内文の送付や施設の見学会などを行い、多目的ホールの利用促進に繋げる。

⑧ 興行への支援助成金交付事業

有名アーティストやスポーツ選手等による興行は、チケットの確保が困難な県外からの参加者も多数あり、宿泊や飲食等を伴うなど地域への経済効果が大きいことから、興行の開催を後押しするとともに、施設の利用促進及び地域の活性化を図るため、一定の基準を満たしたイベント主催者に対し、支援助成金を交付する。

⑨ ホームページのリニューアル

主催者や来場者等が、アスティとくしまのホームページを検索しやすく、施設概要をはじめ、イベント情報や利用方法などを分かりやすくするため、ホームページをリニューアルする。

また、スマホユーザーが多くを占めるため、リニューアルではスマホユーザーからのアクセスに配慮したサイト構造に改善する。

更に、昨年度設置したライブカメラを利用し、アスティとくしま駐車場の混雑状況を、タイムリーに配信することで近隣の混雑緩和を図る。

(6) 自主事業

① 阿波おどり練習場所の提供と練習風景の観覧

阿波おどりの練習場所として、多目的ホールの空き日を有名連に提供するとともに、練習風景の観覧情報を市内の宿泊施設等に発信し、観光客に練習風景を観覧いただくことで、観光振興とにぎわいの創出に努める。

② ふれあい広場等を活用した観光情報発信

県や市町村等と連携し、ふれあい広場を各地域のタイムリーな話題や観光情報を提供する場として活用し、県内各地の観光情報発信に貢献する。

③ SDGs 推進施策

今年度も引き続き、クールビズやウォームビズ対応に取り組むとともに、経営状況などを勘案し、県とも協議を行いながら館内蛍光灯のLED電球への交換など、省エネルギー設備の導入を推進する。

また、CS及びESがともに向上するようジェンダーフリーで働きやすい職場づくりに取り組む。

④ その他

更なる利用者サービスの向上を図るため、予約管理システムなどを適宜改良することで、より利用者目線に立った施設づくりに努める。

また、当施設が徳島市の津波避難ビル・緊急避難場所に指定されていることも踏まえ、避難対応訓練、非常時備蓄品の確保などに努める。

2. 徳島県立男女共同参画総合支援センター（ときわプラザ）の管理運営事業

(1) 指定管理業務の充実・強化策

当協会が継続してときわプラザの指定管理を担うこととなった、第4期（令和3年度から令和7年度まで）の2年目であり、「安全・安心・快適」かつ「利用しやすい」施設づくりを第一義とし、男女共同参画社会づくりの拠点となるよう取り組む。

また、関係者等との連携を密にしながら、アスティとくしまを含めた一体的な施設運営や営業・広報活動を行い、来館者数の増加とホールや会議室等の利用率向上に努める。

(2) 感染症対策

コロナ禍を踏まえ、これまでに感染症予防対策として、手指消毒液スタンドの設置、サーマルカメラ・非接触型体温計の整備、紫外線空気清浄機の導入等に加え、抗ウイルス・抗菌性ワックスによる共用部や備品等への処理を行ったが、引き続き、必要な感染症対策に努める。

また、来館者へのマスク着用、手洗いや手指消毒、3密回避等の注意喚起などを行うとともに、オンライン配信環境の改善など、ハイブリッド型イベント開催等における利便性・快適性の向上を目指す。

3. 徳島県立渦の道・大鳴門橋架橋記念館（エディ）の管理運営事業

渦の道と大鳴門橋架橋記念館の管理運営業務を、(株)ネオビエントと共同で行っており、新型コロナ感染予防対策による安全・安心な環境作りに取り組みながら、更なる顧客満足度の向上に努める。

また、ワールドマスタースゲームズ2021関西や2025年開催の大阪・関西万博を見据えて、県や市町村、観光関係団体等と協力し旅行会社、教育機関等に誘致活動を行うとともに、SNS等を活用し国内外へ情報発信を行う。